

2020年度学校評価

自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人百羊学園 昭島幼稚園

1. 本園の特色と教育目標

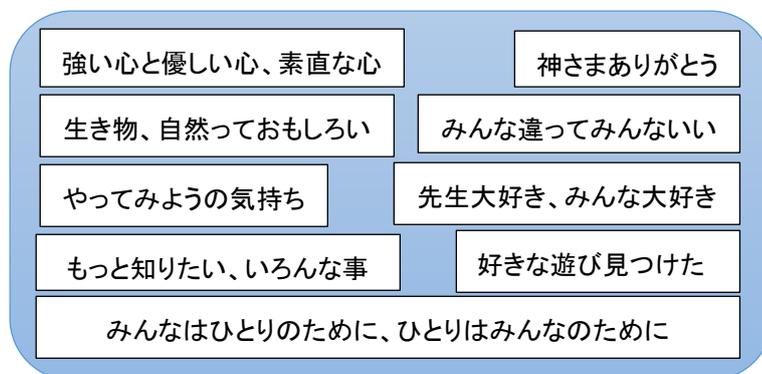
▶キリスト教的な愛に基づく保育の実践

- ・心が育つ保育
- ・個性を認め合う仲間づくり
- ・平和で民主的な生活環境

▶総合的な学びの実践

- ・ゆたかな直接体験
- ・個の充実と幅広い体験

▶家庭と共に歩む保育の実践



目には見えない子どもの心を育みます

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

▶「新型コロナウイルス感染防止」と「保育の充実」との両立をはかる

- ・園児の健康と安全を第一にしつつも、「できる限り」の精神をもって充実した保育を展開する
- ・家庭とのつながりを大切に、家庭に保育を届けられるよう努める

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目 | 評価 | 取り組みの様子 |
|--|----|--|
| 1 新型コロナウイルスへの対応や対策を万全に講じる | A | 感染防止のための必要な備品やルールなどを教職員で話し合い、共通の認識をもって対応することができた。また、感染防止教育としてマスクや手洗い、黙食などの大切さを子どもたちと考え、しっかりと実践することができた。 |
| 2 園児一人ひとりが充実して園生活を送れるよう援助する 家庭との信頼関係の構築 | A | 保育の日々の中で園児一人ひとりと出会い、十分に関わり、園児と教師の信頼関係を構築することができた。ゆっくりと時間をかけながら、園児が自身の力で園生活を送れるように適切な援助や見守りをすることができた。 こうした保育の実際を毎朝の登園時や父母会、面談等の機会を通して家庭に伝え、信頼関係の構築につなげることができた。 |
| 3 教職員が園の教育目標を十分に理解し保育にあたる | B | 研修会や教師会を定期的に行い、園の教育目標や保育の特色、実際の取り組みなどへの理解を深めてきたが、新型コロナウイルスの影響により行事や予定の変更も多く、一部の活動が実施できなかったため課題を残すこともあった。 |

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し課題を残した D：成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | 例年通りにはいかない一年の歩みとなったが、適宜教職員間で話し合いを行い、工夫し、園児にとっても家庭にとっても充実した保育とすることができた。園児も立派に感染防止に努め、家庭の協力も多大にいただいて、安全にそして健康に一年を歩むことができた。 |

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し課題を残した D：成果がなかった）

5. 今後取り組むべき課題、次年度への展望

| 課題・展望 | | 具体的な取り組みなど |
|-------|---------------|---|
| 1 | 経験や出会いの機会を増やす | 文化、芸術、地域社会、安全教育、道徳教育、性教育など、幼児期に有益な活動や経験を提供する機会を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> ・園を中心として1km圏内の施設やお店、地域で働く方々との交流 ・身近にある標識や信号に親しみ、道の歩き方などのルールを学ぶ ・観劇や音楽、伝統芸能などの観賞 ・いのちの教育を通して自分と友達の体や心の大切さを学ぶ |
| 2 | 子育て支援の拡充 | 子育てにあたる家庭の実情に寄り添い、園が子育て支援として協力できることを模索する。 <ul style="list-style-type: none"> ・満3歳児保育開設への準備 ・長期休み（夏休み、冬休み、春休み）の支援の在り方検討 ・子育てひろば、子育て相談の充実、関連団体との協働 |
| 3 | 教職員研修 | 安心、安全な保育、質の高い保育が提供できるよう、教職員の研修を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯、防災に向けた訓練や非常時のシミュレーション確認 ・救急法やAED、エピペン講習 ・音楽、芸術、環境教育、リクリエーション等の技術を高める ・幼児理解や発達、障がい等の理解を深める ・幼児教育の意義と実践についての見識を深める |

6. 学校関係者評価（評価：昭島幼稚園父母会幹事会 / 学校法人百羊学園評議員会）

コロナの不安の中でどこにも遊びに行けず、幼稚園に通えることが本当にありがたかった。先生方は子ども達が安心して過ごせるようにたくさんの配慮をしてくださり安心して登園できた。幼稚園の子どもたちの様子も毎日の送り迎えや父母会、先生のブログなどでよく伝わってきて安心できた。在園児父母の声を集めて父母会幹事会で書面にまとめたのでたくさんの方に見てもらいたい。（父母会幹事会）

創立当初から今日まで、昭島幼稚園には「人を大切にする教育」という保育の精神が流れている。今年度は未曾有の災害と言ってもいい新型コロナウィルスの影響で大きく保育の計画が変更となってしまったが、そんな状況の中でも昭島幼稚園の保育精神には微塵の揺らぎもなく、教職員の深い愛の中で子ども達が安心して保育に参加できたことがよく伝わってきた。特に特別なニーズを必要とする子ども達も安心して通えるように教職員を増員して保育にあたっていること等から昭島幼稚園の保育の精神がうかがえる。

今後もしばらくはコロナ禍での保育が強いられると思うが、これからも昭島幼稚園の保育精神を大切に歩んでいってほしい。（学校法人百羊学園評議員会）